



地域交流活動かわら版



第29回三鷹市国際交流フェスティバル

【平成30年9月23日(日) / 10:00-15:30 / 井の頭恩賜公園西園文化交流広場及び野球場周辺】

来場者40,000人にもおよぶ都内でも屈指の国際交流イベントに、本学団体が今年も参加してきました！

坂本ゼミ ヨーヨー釣り

地域活性化の第一歩になれば、という思いをから本イベントに参加するようになって数年。ヨーヨー釣りは今回も盛況で、特に家族連れに大人気でした！

英語学科 4年 平岩 一紀さん 家族連れに加え、外国人の方も来て下さりその様な方々とのコミュニケーションが楽しかったです。時間帯によって人の混み方が違うので、手が空いた人が時間を見つけてヨーヨーの準備をするなど学生同士でうまく協力し合うことが出来て良かったです。

英語学科 3年 河村 春妃さん 親子連れや外国人との会話を楽しみながら接客することが出来ました。多くの人に参加しているこのイベントは、音楽がかかっていたり、様々な国籍の人と接することが出来たりと終始賑やかで、座学の授業では味わうことが出来ない特別な学びの時間だったように思いました。



国際交流会

折り紙折り&うちわ作り

当日は暑かったため、予想以上にうちわ作りが人気でした！誰でも簡単に作ることが出来るので、親子に楽しんで貰えました！



中国語学科 3年 浅子 研美さん 今年は3年生が主に裏方を担当し、来場者への担当をしてくれた1~2年生は初めての体験で戸惑うことも多かったと思いますがよくやってくれました。この経験をもとに来年はもっと楽しいブースを展開してほしいです。



観光交流文化学科 1年 太田 樹希さん 今年度初めて参加したが、イベントの規模の大きさに驚きました。また、子供相手の説明はアルバイトで接客経験とは異なる態度や言葉遣いが求められることもあって中々難しかったです。うちわ作りが好評だったので、来年はもっと工夫して展開したいです。

第4回BP+学生連携活動、実施！

平成30年9月25日(水)井の頭キャンパスにて第4回連携活動を実施。今年は活動チーム名を『みたか知り隊』とし、大沢地区や野崎地区をターゲットにした企画『みたからさんぽ第2弾』を始動させます！

「農家農園・直売所」×「名所・旧跡」をテーマに三鷹の魅力を味わえる企画となるよう邁進中です！



『ロコモ予防チャレンジ！講座』

平成30年9月8日(土) 三鷹市公会堂さんさん館にて、65歳以上の三鷹市民を対象にした健康に関する講義、運動の指導、体力測定を行う講座へ本学2名の学生が参加し、測定や会場設営のお手伝いをしてきました！

保健学部 理学療法学科 3年 後藤 太一さん ✓

学内では年齢の近い人が先生方との交流に制限されます。そんな中で、学外活動は、面識のない方とのコミュニケーション、一緒に何かをする、人に指導する等、非常に良い経験となりました。

保健学部 理学療法学科 3年 蒲生 丈さん ✓

高齢者の方は積極的で、講義最終日に先生より運動の紹介があった時、多くの質問が飛び交っていた光景が印象的でした。測定も楽しんで取り組まれており、見ている私も楽しくなりました。

ロコモとは？
骨や関節、筋肉など運動器の衰えが原因で、歩行や立ち座りなどの日常生活に障害を来している状態のこと。



『三鷹市 秋の防災訓練キャンペーン』

平成30年9月22日(土) 三鷹中央防災公園・元気創造プラザにて、本学吹奏楽団が「宇宙戦艦ヤマト」「勇気100%」を演奏してきました！

8月頃から毎週2回
学業と並行して
練習に励みました！



保健学部 只野 喜一先生 ✓

以前より地域の福祉施設などを訪問して演奏してきた吹奏楽団は、今年度はご縁があり春と秋の三鷹市交通安全キャンペーンで演奏の機会を頂きました。短い期間での練習は大変ですが、演奏を聴いて下さる方々の笑顔を見ると、とても達成感がありました。地域の方々と交流する機会は学生たちが今後社会で活躍する上で良い経験になったと感じています。今後もできる限り地域の行事などに協力していけたらと思います。



保健学部 看護養護教育学専攻 2年 横山 七海さん ✓

小さなお子様から多くの年代の方々に吹奏楽団の音楽をお届けすることができました。三鷹市民の皆さまの笑顔で楽しく演奏を聴いて下さる姿に、私達もいつも以上に楽しく演奏できました。三鷹市の交通安全キャンペーンという、一大イベントに出演させて頂き、ありがとうございました。今後も音楽を通して、さらに地域の皆さまと交流を深めていきたいと思ひます。

『ケアハウス弘陽園で華道会』

平成30年9月22日(土) 地域交流活動の一環として、井の頭キャンパス近隣の東京弘済園ケアハウス弘陽園で華道会を開催！入所中の高齢者10名が生け花を体験する中で本学学生4名がそのサポートを行った本活動は、楽しいコミュニケーションの場となったようです！



保健学部 診療放射線技術 2年 古家 稚菜さん ✓

先生からお花の説明を一生懸命聞いていた入所者の方も、いざ生けるとなったら戸惑っていました。普段は自分が生ければ完結するので、人に伝えるという事が新鮮で苦戦しました。可能な限りやりたい事に寄り添って形になっていった生け花が先生に褒められた時、私まで嬉しくなりました。また、同じお花が十人十色の作品となり生け方の発見にもなりました。

